岩手日報
発行所 株式会社 岩手日報社
盛岡市内丸3番7号
郵便番号 020-8622
電話代表019(653)4111
振替口座02360-6-20番
◎岩手日報社2011

議長、民主会派の公算大

県議会 副議長は自民に

改選後の県議会（定数48）の会派構成について14日、民主党会派は単独過半数（25人以上）に届かない23人、自民党は12人、公明党は1人、共産党は2人、社民党は3人、地域政党いわて4人、無所属3人となることが固まった。民主と非民主の勢力が拮抗する中で、焦点となる正副議長選については、民主や公明、共産各党は第1会派から議長を選ぶ原則論を主張。民主から議長、第2会派の自民から副議長を選ぶ流れが強まっている。

【関連記事2面】

改選前（欠員2）から民主党は1議席減、自民党は1増、公明、社民両党は増減なし、共産党は1増、地域政党いわては1減、無所属は2増。

会派構成をめぐっては無所属で当選した新人4氏のうち、民主党会派に加入予定の花巻選挙区の名須川晋氏（43）を除く3氏の動向が焦点。だが、久慈の清水恭一氏（60）、二戸の小泉光男氏（54）、陸前高田の佐々木茂光氏（53）は当面、会派に属さない考えだ。

会派構成は20日に正式決定する。地域政党いわては交渉団体会派の要件である5議席確保へ無所属議員の取り込みを続ける構えだ。

こうした勢力図を踏まえ、21日に行われる正副議長選に向けた動きが加速。第1会派から議長、第2会派から副議長を選ぶ通例に従い、民主は議長候補の擁立に動く。

民主党県連の佐々木順一幹事長は「議会は先例を重視するものだ。第1会派からの選出は当然」とし、他党の動きを注視する。

公明、共産は第1会派からの議長選出を原則的に支持。公明党県本部の小野寺好代表は「候補次第だが、基本は重視する」、共産党県委員会の斉藤信副委員長は「少数会派に発言を保障する原則を確認したい」と条件付きで賛成の立場だ。

また、流動的要素はあるが、社民党県連合の久保孝喜県議も「今後の動きを見ての対応だが、『憲政の常道』が原則的考え方だ」と話す。

一方、自民党県連の千葉伝幹事長は1議席増の成果を踏まえ、「達増県政ときっちり相対するため議長選に臨むべきだとの声もあり、対応方針は未定」と含みを残す。

今回の地方選で自民と連携した地域政党いわての飯沢匡代表は「慣例にただ従うだけというのはどうか」と疑問を呈する。

だが、第1会派からの議長を基本とする民主、公明、共産3会派だけで26議席と過半数を占める現状では、通例通りに選ばれる公算が大きくなっている。

首相、早期解散を否定

衆院本会議 代表質問 普天間移設は意欲

野田佳彦首相は14日、衆院本会議での代表質問に対する答弁で、東京電力福島第1原発事故に絡む不適切な言動による鉢呂吉雄前経済産業相の辞任について「適材適所の人選を行ったつもりだ」と釈明し、早期の衆院解散・総選挙を否定した。米軍普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）の移設問題では、日米合意に基づく名護市辺野古への県内移設の推進に意欲を示した。

【代表質問の詳報6面、関連記事3面】

子ども手当など民主党の主要政策見直しをめぐる自民、公明両党との3党合意に関しては「誠実に履行していく」と明言した。

自民党の谷垣禎一総裁が前経産相辞任を「不完全な組閣の結果だ」として任命責任を追及。首相は「辞任閣僚が出たのは残念だ。失われた信頼を取り戻すために、内閣が一丸となって事故収束と被災者支援にまい進する」と強調した。谷垣氏は「民主党マニフェスト（政権公約）を撤回して信を問い直すべきだ」とも迫ったが、首相は「しかるべき時に審判を仰ぎたいが、少なくとも今は解散の時ではないと確信している」と反論した。

一方、普天間飛行場を辺野古に移設する現行計画をめぐり「少なくとも現状に比べると沖縄の大きな負担軽減につながる。沖縄の理解を得るために誠心誠意努力していく」と説明した。

臨時国会を会期4日間としたことへの批判には、東日本大震災対応を挙げ「2011年度第3次補正予算案の準備に全力を尽くすことを最優先に考えている」と答弁。臨時増税を伴う復興債で3次補正の財源を賄う考えを示し「与野党協議に積極的な参加をお願いする」と協力を求めた。

谷垣氏は震災復興では協力する考えを示したが、その前提としてマニフェストの全面撤回を要求。会期をめぐる政府、与党の対応に「国民に説明責任をまったく果たさない暴挙と言わざるを得ない。与野党の信頼関係を大きく損ねた」と反発し、与野党協議には安易に応じない姿勢を打ち出した。

首相は社会保障と税の一体改革で、消費税率を「10年代半ばまでに10％まで引き上げる」とした政府与党案の関連法案を11年度中に国会へ提出する方針を表明。税率引き上げ時期は「実施前に総選挙で民意を問うべきだ」と述べるにとどめた。

復興魂 山車に乗せ

盛岡秋まつり 宮古市消防団も参加

宮古市の消防団員も加わり勇壮な山車が練り歩いた八幡下りパレード＝14日午後1時13分、盛岡市八幡町

秋の訪れを告げる盛岡秋まつりは14日、「がんばろう岩手　盛岡から元気を発信」をテーマに始まった。今年は盛岡市の消防団で構成する南部火消伝統保存会（西村紀昭会長）が東日本大震災で被災した宮古市の消防団を招待。復興に向けて心を一つに山車を運行した。

「ヤーレ、ヤーレ」と威勢のいい掛け声を響かせながら、山車7台が盛岡市八幡町の盛岡八幡宮を発着点にパレード。支援への感謝を伝える横断幕を持った宮古市の団員が通り掛かると、沿道からは大きな拍手が湧いた。

宮古市消防団の赤沼利彦第3分団長は「被災しても消防団は一生懸命活動している。復興に向けた心意気を祭りで示したい」と張り切っていた。

15日は午後6時から盛岡山車大絵巻パレードが岩手公園付近を出発。16日は盛岡八幡宮で流鏑馬などが行われる。

宮古の津波39.7メートル

土木学会特別委が報告

明治三陸地震超え史上最大

土木学会東日本大震災特別委員会の津波特定テーマ委員会（委員長・今村文彦東北大教授）は14日、記者会見し、宮古市で陸地の斜面をさかのぼった津波の高さ「遡上高」が39・7メートルに達したとみられることを明らかにした。

国内の津波遡上高としては1896年の明治三陸地震の際、大船渡市で確認された38・2メートルを上回る観測史上最大規模。

東日本大震災ではこれまで、宮古市内で38・9メートルの津波の痕跡が確認されている。

土木学会メンバーら全国の研究者でつくる「東北地方太平洋沖地震津波合同調査グループ」による現地調査結果。

会見した高橋智幸関西大教授によると、今回の震災のように震源が陸地に近い場合は通常、津波の広がりは限定的で、明治三陸地震でも福島県では顕著な津波は確認されていない。しかし今回は西日本でも津波が確認され「1960年のチリ地震など遠地地震津波に匹敵する」という。

また会見では、東日本大震災で損壊した釜石港の湾口防波堤が再建されないまま明治三陸地震クラスの津波に見舞われた場合、釜石市の浸水面積は、通例通りに選ばれる公算が大きくなっている。

住宅再取得に減税

復興支援税制 政府税調方針 農地登録税も減免

政府税制調査会は14日、東日本大震災の被災者が住宅を再取得する際の住宅ローン控除の拡充や、新たなまちづくりに伴って土地を譲渡する場合の土地譲渡益課税の優遇などを柱とした支援税制の追加措置を来週にも策定する方針を固めた。政府が検討中の2011年度第3次補正予算案と併せて、追加措置を盛り込んだ税制改正法案を10月にも開かれる臨時国会に提出する。

【関連記事3面】

被災者支援のための特例税制では、4月に決定した第1弾で、倒壊や津波で住めなくなった住宅について住宅ローン減税の適用継続などを決定。今回はこれに加え、被災者が新たにローンを組んで住宅を再取得する場合、所得税の税額控除の限度額や控除率を引き上げる措置を導入する。

第1弾では、津波などにより廃車にした自動車について、納付済みの自動車重量税の残り期間分を還付したり、買い替え時の自動車重量税を免除する措置を決めたが、追加措置では対象を二輪車にも広げる。

住宅や家財の損壊により取り壊しや復旧の費用を支出した場合、かかった金額を所得から控除できる「災害関連支出」の適用期間を2013年まで2年間延長する方針。被災した農地の代わりの農地を取得した場合の登録免許税を減免することも盛り込む。

このほか、被災企業が相続税や贈与税の「事業承継税制」を受ける際の雇用確保などの適用要件の緩和や、原発警戒区域内にある建物の代わりの建物を取得した場合の登録免許税の免税などを追加で措置する方針だ。

前沢牛の生体出荷再開

規制後初、東京市場へ

奥州・岩手ふるさと農協

奥州市の岩手ふるさと農協（門脇功経営管理委員会会長）は14日、前沢区北久保の佐々木君夫さん（73）は「先が見えず、長くてつらい2カ月だった。価格の動向は心配だが、まずは無事流通に乗るといい」と願った。

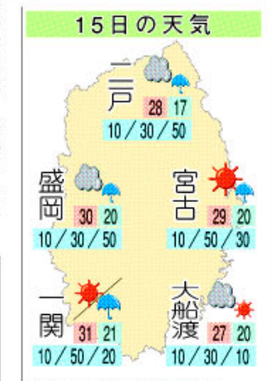
同農協によると7月下旬の出荷自粛以降、肥育期間が延びた影響で10頭余りが死ぬなど損害が生じている。

県内の被害者数（人）

死者	4658
行方不明者	1667

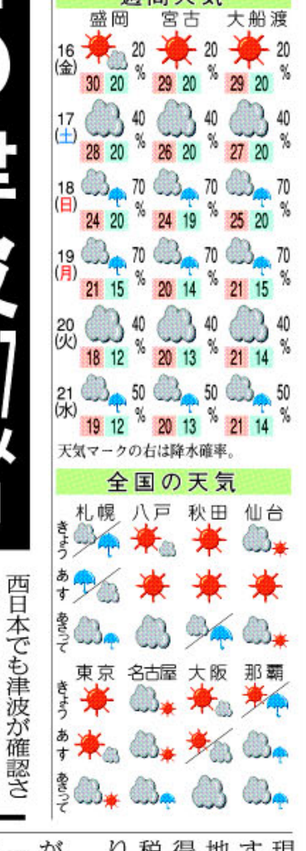
14日現在、県総合防災室まとめ
※行方不明者数には死亡届の受理数を含む

15日の天気



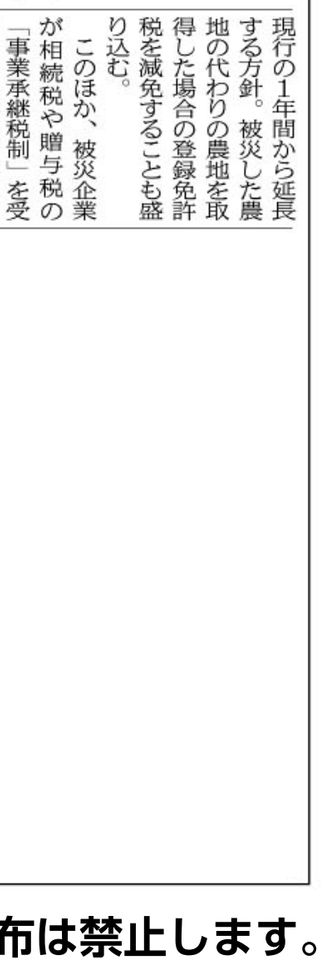
降水確率は午前／午後／夜（%）。
天気マークは☀のち☂、一時・時々。
予想気温は最高、最低（℃）。

週間天気



天気マークの右は降水確率。

全国の天気



立ち上がろう岩手

21 全日本軟式野球17日から熱戦
2 米が日本に核防護要請
3 「安全運転」の初論戦
4 滝沢市制に7割賛成
26 AKB48旋風　海外へ
28 隠し録音　法廷で再生
29 仮設共同店舗に〝秋風〟
10生活、運勢 11声、交差点 13ラジオ欄
15文化 16 17東北発ニッポン元気会議
18～20スポーツ 22 23内陸 24沿岸
25生活、求人情報

きょうの紙面

■岩手日報ホームページ http://www.iwate-np.co.jp/
■読者センター（平日9～17時）
▶ファクス 019（653）8206
▶Eメール dokusya@iwate-np.co.jp
ご購読申し込みは… 0120・240840

風土計

米国の作家マーク・トウェインは「たばこをやめるなんてとても簡単なことだ。私は百回以上も禁煙している」と語ったという。禁煙は難しいとの皮肉を込めたジョークだ▼小宮山洋子厚労相が「1箱700円に」と言及したたばこ増税について、波紋が広がっている。小宮山発言は東日本大震災の復興財源とするため、たばこを値上げしてはどうかというものだが、本人がたばこ嫌いだったことから話題がヒートアップした▼日本禁煙学会の作田学理事長は「700円でも安すぎる。千円にすべきだ」と訴え、厚労省に要請書を提出した。愛煙家といわれる野田佳彦首相に対しても「トップリーダーとして直ちに禁煙を」と呼び掛けた▼知り合いのヘビースモーカーがピタリとたばこをやめた。孫から「おじいちゃん、たばこ臭い」と嫌われたのがこたえたという。孫に弱いおじいちゃんは決然と禁煙を宣言し、成功した。うなずいている読者もいるのでは▼「アリストテレスが何といおうと哲学が束になってかかってこようと、たばこに勝るものはあるまい」とはフランスの劇作家モリエール。知人の孫は、アリストテレスをもしのいだ▼たばこが健康に良くないことは分かっている。それでも、なかなかやめられない。原稿に詰まって、ふと気がつくとベランダに出て一服していた。

この紙面の著作権は岩手日報社が保持しています。無断転載、複製及び配布は禁止します。